

[プレスリリース]

日本勢、暫定1位と2位。白熱した接戦が続く
スペイン・マヨルカ島で開催の470級世界選手権大会



© Bernardí Bibiloni/Int. 470 Class

スペイン・マヨルカ島で開催中の「2024年470級世界選手権大会」。決勝シリーズに入って、日本勢の順位争いがさらにヒートアップしてきました。

軽風コンディションとなった今日の1レース目、岡田／吉岡組が4位、磯崎／関組は5位となり2チームが同点で並びます。続く2レース目は序盤で風の振れを掴んだ磯崎／関組が上位をキープするのと対照的に、反対海面を選択した岡田／吉岡組は28位まで順位を落としました。

今大会では期間中、最も悪い成績をカット（点数から除外）することができます。岡田／吉岡組はこのレースをカットレースとし暫定2位を維持。磯崎／関組は初日から暫定トップを守っています。2チームの得点差は4ポイントです。吉田／吉田組は現在10位、高山／盛田組は20位につけています。

3月2日（現地時間）まで決勝シリーズが続き、トップ10が最終日、3月3日（現地時間）のメダルレースに進みます。メダルレースは得点が倍になり、カットはできません。

今大会はパリ2024オリンピック・男女混合470級日本代表の一次選考大会でもあり、表彰台に上がった場合、1位は総合ポイントからマイナス8点、2位はマイナス7点、3位はマイナス6点のボーナスポイントが付与されます。

【7レース終了時の成績】（参加61艇）

1位：磯崎 哲也／関 友里恵 19 ポイント

2位：岡田 奎樹／吉岡 美帆 23 ポイント

3位：Jordi Xammar／Nora Brugman（スペイン） 32 ポイント

10位：吉田 愛／吉田 雄悟 45 ポイント

20位：高山 大智／盛田 冬華 65 ポイント

大会公式サイト：<https://2024worlds.470.org/en/default/races/race>

成績表：<https://2024worlds.470.org/en/default/races/race-resultsall>

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

日本セーリング連盟広報委員会 kohou@jsaf.or.jp
または 西 朝子 sailingnishi@gmail.com 090-1042-9262

JSAF 公式サイト <https://www.jsaf.or.jp/>
オリンピック強化委員会サイト <http://jsaf-osc.jp/>